

活動テーマ やってみよう！感じてみよう！なるほど職業体験

～「子どもゆめ基金助成活動」補助事業～

岐阜県 社会福祉法人 和光会

〒501-0104 岐阜市寺田7丁目95番地 TEL. 058-254-8080 FAX. 058-254-8081

取り組み内容のポイント

【職業体験】

- ・「働くこと」「高齢者」「子ども」「地域」について考え、福祉に対する理解を深める。
- ・“住みやすい街”“住みたい街”“人にやさしい街”について考え、未来の街づくりや人づくりに繋げる。
- ・サポートボランティアの方との交流を通じて多世代の交流を図る。

【職業体験サポートボランティア】

- ・子どもの健全育成や福祉や地域に対する理解を深める。
- ・子どもたちの行動や思い、考えに寄り添い、多世代の交流を図る。

活動内容

- 活動開始年
平成26(2014)年度
- 活動の対象者
 - ・職業体験
小学校4年生～中学3年生（岐阜市、北方町、本巣市、瑞穂市町在住）
 - ・職業体験サポートボランティア
大人（地域の住民、地域の高齢者など）
- 活動の頻度・時間
 - ・職業体験
年1回 1回あたり 8時間（うち休憩1時間）

- ・職業体験サポートボランティア
事前研修（2回） 1回あたり4時間
年間1回 1回あたり8時間

取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無 記載していない
- ②事業報告・計画への記載 記載している

取り組みを実施している施設の概要

法人として実施している。

活動実施の背景、実施にいたった理由

社会福祉法人和光会（以下 和光会）は、医療法人和光会とともに、地域の皆さまが生涯を通じ、安心して暮らせる健康的な社会を実現するため、子育て・保健・医療・福祉の総合的なサービスの提供を行っている。特別養護老人

ホーム、老人保健施設などの高齢者施設の他、児童館、保育園、障害児支援などの子ども支援施設の運営を行っている。運営する児童館の『赤ちゃんとお遊ぼう』の行事に参加した児童は「初めて赤ちゃんに触ったよ」と言った。高齢者施設を訪問した保育園児は「おじいちゃんの手がしわしわだったのでびっくりした。」という感想だった。少子

法人設立年
平成10(1998)年

法人実施事業

①経営施設数合計：27施設
②経営施設・事業【種別毎の数】：

・特別養護老人ホーム	2か所
・ケアハウス	1か所
・住宅型有料老人ホーム	2か所
・認知症対応型共同生活介護	2か所
・認知症対応型通所介護	2か所
・定期巡回随時対応型訪問介護看護	1か所
・小規模多機能型居宅介護施設	2か所
・夜間対応型訪問介護	1か所
・地域包括支援センター	1か所
・障害福祉サービス	1か所
・指定特定相談支援事業所	1か所
・特定障害児相談支援事業所	1か所

・放課後等デイサービス	2か所
・保育園	2か所
・一時預かり事業所	2か所
・児童館（岐阜市指定管理）	2か所
・子ども館（北方町運営業務委託）	2か所

法人の理念・経営方針

生涯支援サービスの提供
地域のみなさまが生涯を通じ、安心して暮らせる健康的な社会を実現するため、子育て・保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供します。

個人の尊重と共感
一人ひとりの思いを尊重・共感し、生きる能力を育み、生きがいのある人生を送るため支援を行います。

継続的改善とたゆまぬ発展
意欲と知恵と工夫により、働きやすい環境と教育の機会を進め、サービスの継続的改善と新たな開発により、たゆまぬ発展をめざします。

化の現代はきょうだいの世話をすること、核家族化は高齢者と過ごすことが少ないのだろう。多世代との関わりを通じ、思いやりの心を育み、さらに福祉への関心を少しでも高めたいと感じた。

職業体験を通じ「働くこと」「高齢者」「子ども」「地域」について知るとともに、感じたことから、未来の街づくりや人づくりに繋げてほしいと願い企画した。将来を担う子どもの健全育成は、社会・地域にとって非常に大切だと考え、福祉に関わる職業体験の実施にいたった。

実施内容

【職業体験】

1回実施 参加定員 60名（A～C 各コース20名）
介護、子育て、地域の3部門に分かれ、地域の福祉に関わる職業を体験する。

■実施…年1回 午前9時～午後5時（休憩1時間）

【Aコース】介護に関する職業

- ①認知症サポーター養成講座
- ②高齢者疑似体験
- ③車いす体験
- ④高齢者施設体験

【Bコース】子育てに関する職業

- ①保育士体験
- ②子ども館職員体験
- ③障害児施設体験

【Cコース】地域に関する職業

- ①消防署見学・体験
- ②地域支え合いセンター見学・交流
- ③子ども館職員体験

■対象…岐阜市・北方町・本巣市・瑞穂市 在住の小学校4年生～中学3年生

【職業体験サポートボランティア】

全3回実施 参加定員 15名

- ・職業体験で子どもたちと同様の内容を体験する。
- ・職業体験の当日、参加する子どものサポートを行う。

■実施…事前研修 2回（1回あたり4時間）

（内容）1回目：子育て（保育・発達障害・児童健全育成等）について学ぶ
2回目：介護（高齢者・認知症・障害等）について学ぶ

職業体験当日 1回

■対象…児童の健全育成や福祉について理解がある方。
子どもと一緒に活動したい方

活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

案内チラシを手渡すと『職業を体験できる場を提供いただけることが非常にありがたい』という言葉をいただいた。豊かな多くの経験や体験が、何かの機会にわずかも活かしてもらえたらと願っている。

不登校気味だった児童は、児童館を利用する中で興味をもち、自分の役割を見いだせた。「児童館の先生にはどうしたらなるの？」と児童館の指導員への進路をめざすという目標をもつことで、少しずつ学校に行けるようになった。地域の大人（職業）に触れることが、子どもの未来が輝ききっかけにもなりうることを実感した。高齢者も同様

である。今回見学・交流する「地域支え合いセンターひなたぼっこくらぶ」では、地域の誰もが気軽に利用できる多世代交流施設だ。高齢者が地域の子育て支援活動に関わることで、高齢者自身の培ってきた経験を活かせる喜びと充実感を感じ、自分にできる“役割”をもつことが“生き生き過ごす日常”に繋がっている。

職業体験を通して、地域のことや福祉に意識を持つきっかけを得る効果が期待できる。

今後の展開

子育て支援や高齢者との活動の中で、孤独な中での暮らしは不安とストレスを引き起こし、生活に影響すると感じた。地域での活動を通じ、自分の役割をもってすごせるような居場所や環境が必要だと感じた。職業体験で地域の方にご協力を得ているが、今後も地域の課題を鑑みつつ、各種団体や学校、企業等が連携し、地域ネットワークを強固にしていくことも必要だと思っている。

10月初め、地域の社会福祉協議会支部が中心となり、地域住民と和光会と一緒に2か所目の“ひなたぼっこくらぶ”を開所した。子どもから高齢者までの多世代が関わる中で、自分の“役割”、目標や生きがいを見出し、誰もが生き生き暮らせる地域を一緒にめざしたいと開所した。

少子高齢化が進む今後に向けて、地域のみならずともに地域の福祉の充実をめざし、生涯を通して生き生き暮らせる地域づくりをさらに広げていきたい。

主な経費や財源及び人員など

※年間あたり

主な経費(支出)	経費概算額	主な財源(収入)	財源概算額
謝金 (指導者・ボランティア)	185,000円	子どもゆめ基金助成	305,000円
旅費	15,000円	法人負担	147,000円
通信費	36,000円		円
賃借料	20,000円		円
印刷費	60,500円		円
消耗品費	35,500円		円
保険料	20,000円		円
その他(バス代など)	80,000円		円
合計	452,000円	合計	452,000円

- ・取り組みに係わった職員数 12名
（職種等：保育士、看護師、介護福祉士、児童指導員、児童厚生員）
- ・取り組みを実施している施設の事業規模
（平成25年度決算の事業活動収入）〔 〕円
※法人全体の事業規模（同上） 1,927,774,000円



職業体験 地域に関する職業
(消防・救急の仕事体験)



職業体験 子育てに関する職業（保育士体験 赤ちゃんのオムツかえ体験）